

英 語 活 動 案

尾道市立栗原北小学校

指導者 H R T 小 林 俊 明

A L T Andrea Dale

A L T Sachi Richimond

1 日 時 平成15年10月24日（金）第1校時

2 場 所 図工室

3 学 年 第5学年1組 32名

4 題材名 「レッツ、オーダー」

5 題材について

○ 本題材は、昨年の活動である「好きな食べ物は何ですか？」や1学期の活動の「ハンバーガーショップ」を発展的に扱うものである。飲み物、食べ物、ショップでのやりとりなど、今までの活動で経験したことが利用できるのも、児童にとって親しみやすいと思われる。また、店員と客という立場が明確であり、日常の生活においても経験の多い場面設定であることから、児童相互がコミュニケーションをとりやすい題材である。この活動を通して、児童相互が役割分担をし演じることで、表現豊かに関わり合いを深めることができると考える。

○ 本学級の児童は、これまでの英語活動であいさつや数字、動物、野菜など多くの英語表現に親しんできた。一昨年は学習発表会で「大きなかぶ」の英語劇に取り組み、身体表現をしながら英語に親しんだり、昨年の「ハロウィンパーティーをしよう」では、外国の祭りの雰囲気を感じ取り、日本と異なる文化を体感したりしてきた。今年度1学期、MTP2003でミッジー先生が来校した際には、気楽に話しかけたり、遊びに誘ったりするなど、抵抗感なく関わりを持とうとする様子は、今までのさまざまな活動の経験が生きていると思われる。

しかし、英語活動の時間において、上手に発音できなかつたり、みんなの前で発話することに恥ずかしさを感じたりという理由から積極的に声を出そうとしない児童もいる。

○ 指導にあたっては、児童が自分たちでフレーズを考え、それをA L Tに確認したり練習したりすることを通して、英語表現に自信がもてるようにする。そのために、1学期の「ハンバーガーショップ」での会話をふり返り、本題材の活動に入りたい。また、小グループによる活動場面を設定することで、児童相互に関わり合ったり、教え合ったりできる場を増やし、リラックスして英語にふれられるように努める。併せて、英語を聞かなくてはできないゲーム、言わなくてはできないゲームを取り入れ、英語を自然に耳にし、主体的に発話しようとする場面づくりにする。そして、A L Tとのやりとりや、外国の話を聞く時間を設けることによって、英語を聞くことだけでなく、外国の文化にも触れさせ、今後の様々な交流活動で積極的に関わりを持とうとする態度を身につけさせたい。

6 目 標

○ 友だちや先生の言葉をしっかりと聞こうとする。

○ レストランでの会話を考えながら、英語表現に自信が持てるようにする。。

7 評価規準

表現	自信を持って発話しようとする。
聞く	集中して聞こうとする。
コミュニケーションへの積極性	積極的に友だちや先生とコミュニケーションを取ろうとする。
思いやり	自分や友だちの良さに気づこうとする。
異文化理解	日常生活での英語の言い方に興味を持とうとする。

8 活動計画

時	内 容	使 う 言 葉	歌
1	○レストランのメニューを知り、活動の見通しを持つ。 ・ドッカンワード ・集中カードゲーム ・クラッシュゲーム	beefsteak, spaghetti, salad, sandwich, chicken, hamburger, curry and rice, juice, milk, tea	♪"The Spaghetti Song" ♪"Good By Song"
2 (本時)	○レストランでのオーダーの仕方を考える。 ・「ハンバーガーショップ」での活動から想起し、適した言葉を考える。 ・ドッカンワード ・コールゲーム	Hello. Hello. How many people? (Two) Sit here, please. Thank you. Here you are. (menu) Thank you.	
3	○店員と客に別れて演技方の練習をする。 ・ドッカンワード ・コールゲーム ・集中カードゲーム	What would you like? (Sandwich), please. Here you are. Thank you. Do you like it? Delicious. (or) Yummy. Bill, please.	
4	○役割分担をし、レストランでオーダーのし方を演じる。 ・レストランゲーム	Here you are. (Bill) Here you are. (Money) Thank you. See you. Have a nice day. You too.	

9 本時の目標

- レストランでのオーダーの仕方を考え、進んで活動に参加しようとする。
(コミュニケーションへの積極性ー①)
- 友だちや先生の言葉をしっかり聞こうとする。
(聞く①)

10 準備物

メニュー、絵カード、歌のCD、ネームカード、リズムボックス
ヒントカード、レストランでのビデオテープ、ふり返しカード、

11 本時の展開

ACTIVITIES 支援 (○)・評価 (※)		
Children	HRT	ALT・VT
1 歌 ♪ The Spaghetti Song	・一緒に歌う。 ※元気に歌っているか。	○一緒に歌いながら、難しい部分を大きな声で発音する。 ※元気に歌っているか。
2 あいさつ・ ネームカード渡し	・明るい表情であいさつをする。 ※聞き取りやすい声で返事をし、目を見て言葉を交わしているか。	・あいさつをする。 ○元気な返事、アイコンタクト、笑顔で受け取るよう促す。 ※聞き取りやすい声で返事をし、アイコンタクトができたか。
3 主活動 ①リズムチャンツ ②ゲーム ・ドッカンワード ・コールゲーム ③オーダーの仕方を考える。	○児童に適した速さでリズムをとり、無理なく繰り返せるようにする。 ○参加しにくい児童のサポートをする。 ※お客様を誘いゲームを楽しもうとしているか。 ○ビデオを見せた後、絵を使って場面を明らかにする。 ※言葉を考え発表しようとしているか。	○口の動きをオーバーにして発音する。 ○ドッカンゲームをリードし、コールゲームでは発音しにくい児童のサポートをする。 ※積極的に発音している児童をほめる。
(Shop assistant) Hello. <u>How many people?</u> Sit here, please. Here you are. (menu) <u>What would you like?</u> Here you are. Do you like it? Here you are. (Bill) Thank you. Have a nice day. 《導きたいスキット》 (Customer) Hello. Two. Thank you. Thank you. (Sandwich), please. Thank you. <u>Delicious. (or) Yummy.</u> <u>Bill, please.</u> Here you are. (Money) See you. You too. 〔下線は新しい表現〕		
	○5人程度のグループに分かれてアドバイスしあいながら練習さ	○店員を演じると同時に会話のアドバイスを

	せる。 ○児童の質問に答える。 ※積極的に参加しているか。	○児童の質問に答える。 ※積極的に参加しているか。
④グループごとに発表する。	○いくつかのグループに練習したものを発表させ、自分たちのフレーズと比べさせる。 ※目を向け、友だちの発表を聞いているか。 ※進んで発表しようとしているか。	○新しい言葉の発音の仕方を示す。 ※進んで発表しようとしているか。
⑤ ALT の話を聞く	○児童の理解の様子を見ながら、わかりにくい場合は必要に応じて補足する。 ※目を向けて聞いているか。	○支払い方法やチップについて、ジェスチャーを交え、わかりやすい英語を使ってゆっくり話す。
4 歌 ♪ Good By Song	・一緒に歌う。 ※積極的に歌おうとしているか。	・一緒に歌う。 ※積極的に歌おうとしているか。
5 ふり返りカード	○がんばったことを見つけ、声かけをする。	
6 あいさつ	・学習の終わりを告げ、あいさつをする。	・あいさつをする。

《ゲーム》

- ・ドッカンワード : キーワードを決め、2人1組で間に消しゴムをおく。ALT の言葉を聞きながら ALT がキーワードを言ったら素早く消しゴムを取る。
- ・コールゲーム : 単語カードを持ち数人で円をつくる。リズムに合わせて自分の単語と次の人の単語を続けて言う。